

# 第38回接続料の算定等に関する研究会

2020/11/17

ビー・ビー・バックボーン株式会社

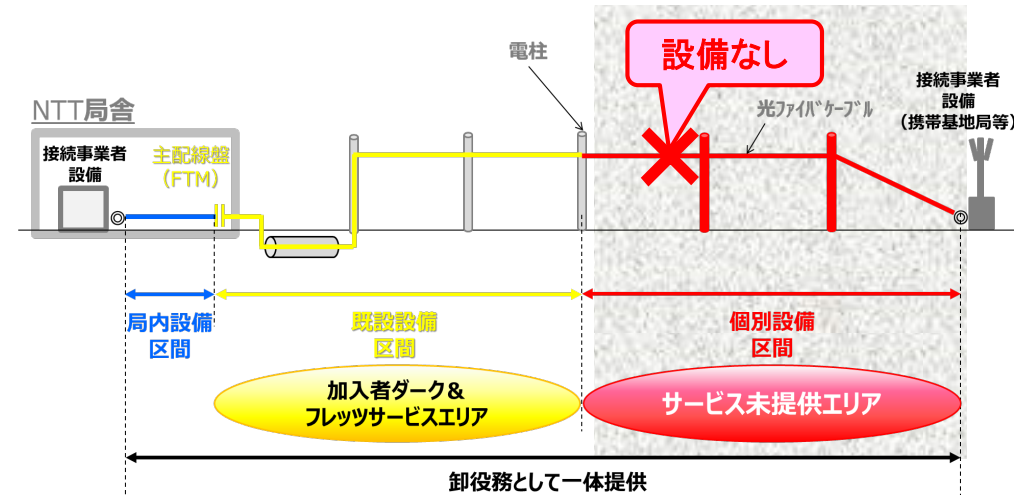
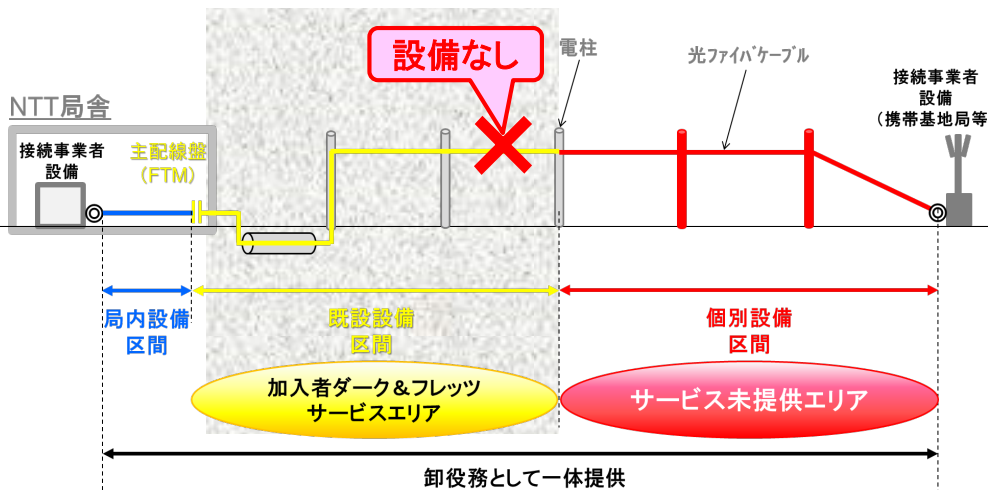


# フレキシブルファイバ（FF）提供不可について

- FFは局内・既設・個別設備のそれぞれが卸役務一体として提供されます。しかし、弊社としては、その設備の一部でも枯渇しているとFF区間全体が提供されないことが問題と考えます。
- 接続事業者の創意工夫を活かした効率的な回線構築を可能とし、5G携帯電話基地局の急速な普及を促進するためにFFは「既設設備区間」と「個別設備区間」に分けた卸回線提供を可能にすることや、NTT東西からの通常の提供が受けられない場合には、他事業者との共用等が可能となるよう他事業者の個別設備の状況について情報開示すべきです。

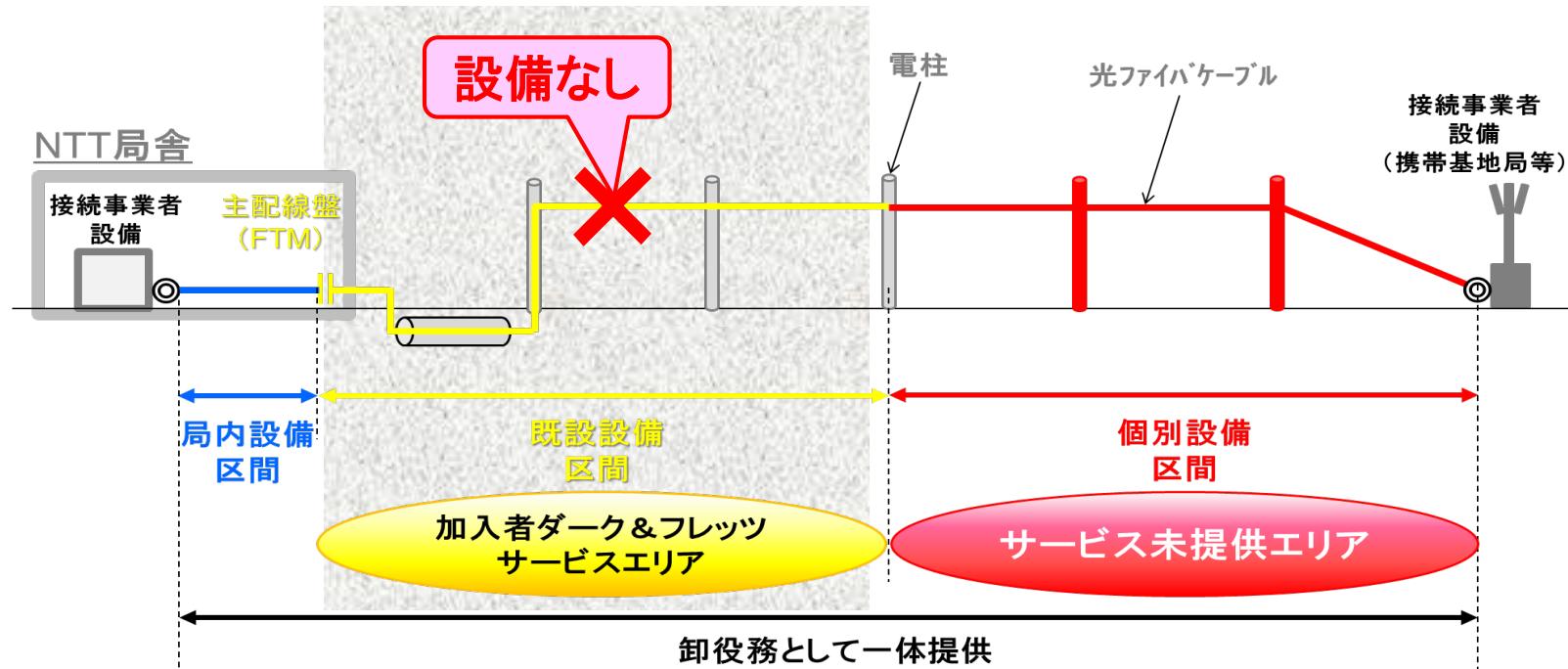
【既設設備区間に設備なし】

【個別設備区間に設備なし】



# 既設設備区間に「設備なし」

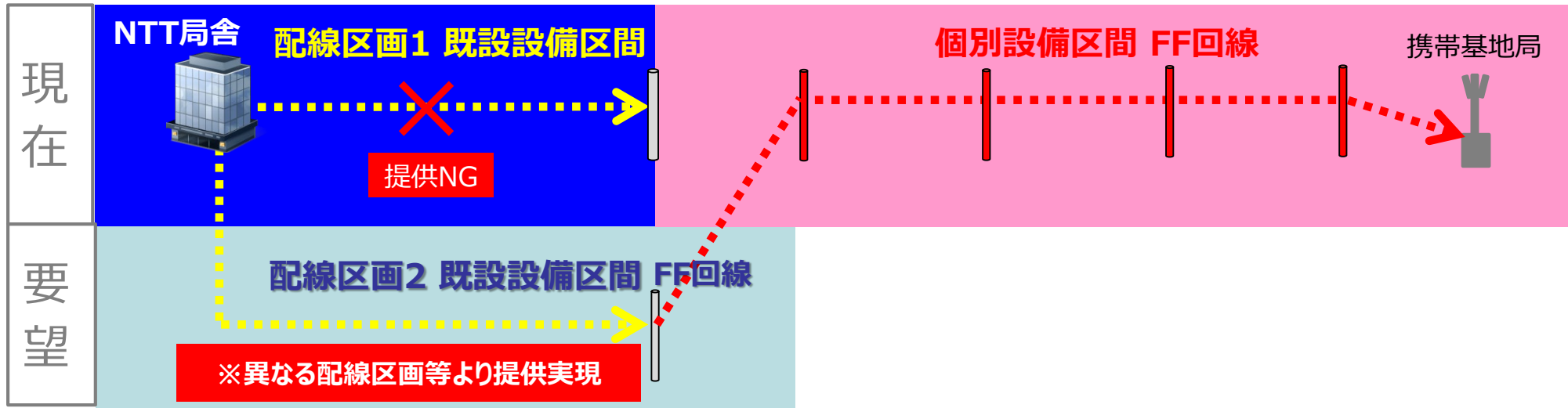
- 既設設備区間の一部が枯渇等していることでFFが提供できない場合は、NTT東西のフレッツサービス等も新たな需要に対し提供できない状況と考えます。まずは、NTT東西が不足する該当設備の早急な増設対応が必要です。



- <要望 1> NTT東西の営業部門で確保している回線があれば、その芯線を開放することを要望します。
- <要望 2> 異なる配線区画等よりFFを提供するための線路設計と回線提供を要望します。
- <要望 3> どうしても既設設備区間が提供できない場合、個別設備区間のみの提供を要望します。

# 既設設備区間なしの場合 <要望 2>

- 異なる配線区画等よりFFに提供可能な芯線提供を要望します。

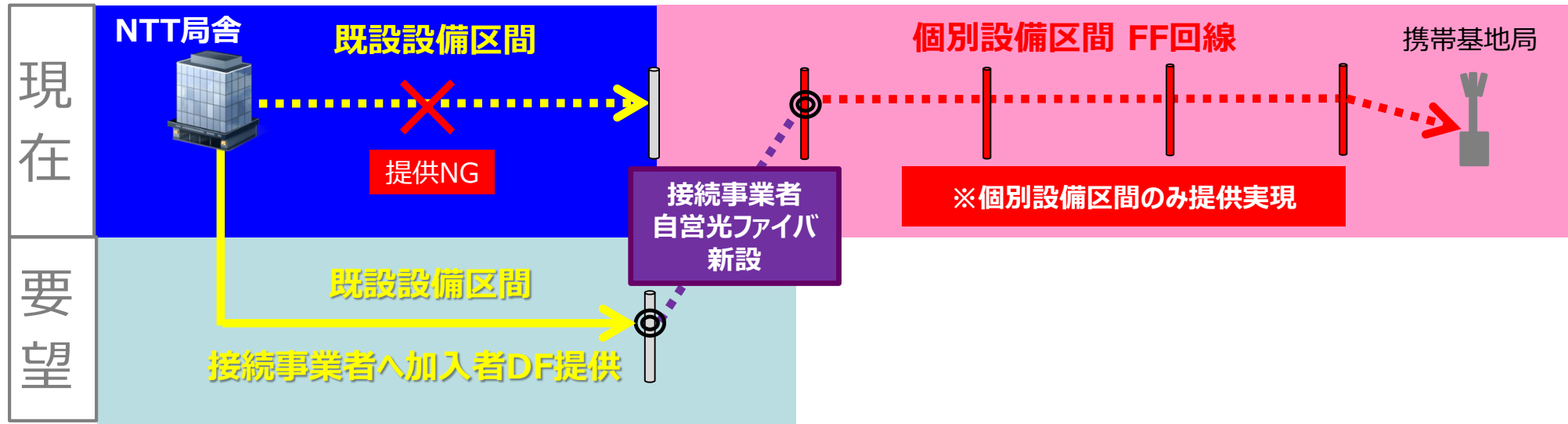


## <要望事項>

1. NTT東西において異なる配線区画等からの「線路設計」と「芯線の捻出提供」を可能にしてください。
2. 接続事業者が自営設備を構築するとき、個別設備区間の電柱・管路・支線等（付帯設備）利用が必要な場合はその利用を可能としてください。
3. 仮に、要望するFF区間のルートに先行他事業者FFが存在した場合、『他社設備あり』とNTT東西は机上検討結果を回答すること。

# 既設設備区間なしの場合 <要望 3>

- 十分な設備検討の結果、既設設備区間の回線提供が困難な場合は個別設備区間のみの提供を要望します。



## <要望事項>

1. 個別設備区間のみの提供を受ける場合、接続事業者が新設する自営光ファイバと柱上での接続を要望します。
2. 提供される個別設備区間の監視及び障害切り分けは接続事業者にて実施します。  
 <例> 個別設備区間に先行事業者が存在する場合、その回線で代表芯線監視とみなす 等
3. 個別設備区間に先行して他事業者がいた場合、その区間での追い張り（ケーブル追加敷設）を要望します。

---

# Appendix

# フレキシブルファイバの扱い（弊社意見より）

## (2)フレキシブルファイバの適正性・公平性・透明性の確保

### <③提供の公平性に関する具体的な措置>

- NTT東日本・西日本に対し、「既設設備区間」の芯線が無い場合の芯線提供義務、若しくは、隣接する光ファイバ配線区画等より空き芯を確保し提供することなどのルール整備が必要。

# フレキシブルファイバの扱い（意見書より）

## (3) その他の検討事項

### <①フレキシブルファイバを効果的・効率的に活用する方法>

- 「個別設備(新設)区間」にて新たに光ファイバの敷設が困難(地権者等の拒否や新たなルート構築が困難)な場合には、他の接続事業者へ既に提供している光ファイバや付帯設備(電柱・管路など)があれば、その設備を積極的に共用することが可能となるようルール整備を要望。
- 既に他事業者へ構築・提供されているフレキシブルファイバやNTT東日本・西日本の付帯設備(電柱・管路・支線・支柱等)が存在するときは、利用を要望する他事業者が迅速かつ円滑に共用可能となるよう要望。その際、この共用のために多額のシステム改修費が発生しないよう検討することを要望。
- NTT東日本・西日本の提供エリア外である場合は、加入光ファイバの申請を省略しフレキシブルファイバの申し込みを可能にすることが必要。または、接続事業者の加入光ファイバ申請時に「加入DF提供NGの場合FF(フレキシブルファイバ)希望」などの文言を入れることで、無駄な加入光ファイバNG回答を待ってFFの申請を実施する必要がなくなり、シームレスで効率的なFF調査申請が可能になると考える。
- 「フレキシブルファイバを効果的・効率的に活用する方法」は、「既設区間」と「新設区間」に分け共用ルールの整備や柱上WDM等の既存技術を活用した方法等を早急に整備することを要望。